

令和6年度 岩内町立岩内西小学校 学校経営方針

1 はじめに

未来を生きる子どもたちが夢を持ち可能性に挑戦するために、学校は「生きる力」を育んでいく使命がある。複雑で予測困難な社会であるからこそ、変化を前向きに受け止め、感性を働かせて人生をより豊かにすることや、複雑・多様化した現代社会の課題に対して「主体的な学び」や多様な考えを持つ人との「協働」を通じて、課題解決につながる新たな価値観や行動規範を生み出すことが必要となる。

5年目を迎える現行の学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を3つの柱に整理している。具体的には、①何を理解しているか、何ができるか（知識・技能の習得）②理解していること、できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等の育成）③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等の涵養）ということが確実に達成できるようにしている。本校においても、子どもたちの資質・能力を育成するために、カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、家庭や地域との連携・協働を組織的に推進していく。

2年後に開校する岩内中央学園のスタートに向け、昨年度までの町教研主催の部会運営を中心にした町内小中学校4校の足並みを揃えた取組を、今年度は月1回の専門部会が中心となり、より町内の連携協働を意識した取組を進めるようにした。また、開校に向けた9年間を見通した学校教育目標・グランドデザインを設定し、それぞれの学校課題の解決を前提に、共有化・共通化を今まで以上に図り、よりよい連携協働ができるようスムーズな接続を行いたい。

さらに、学びの保障とした始まった全校児童1人1台端末を活用し、GIGAスクール構想の実現に向けた教育実践を積み重ねる必要がある。個別最適化な教育を推進するため、家庭学習や日常の授業改善につながるようなタブレットを活用した教育実践を積み重ね、日々進化するICTのベストミックスをさらに図りながら、子どもの力を伸ばすことにより、教師自身の資質・能力も高めていきたい。

学校教育とは組織の営みである。全教職員の学校経営参画意識の向上を図り、協働の意識を持ち学校教育を推進していく。

2 学校教育目標

「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび

助け合うよろこび

やりぬくよろこび

3 重点目標

にっこり西校～自分のよさを知ろう

自ら進んで学び 共に支え合い よさを高め合う子

令和5年度の学校評価では、児童アンケートの36項目中31項目で肯定的意見(3.2以上)を占めている。また、11項目で前期アンケートより評価が高くなっている。また、昨年度から重点項目として行った「西小あいことば」の5項目については、いずれも3.2以上の肯定的意見。さらに、後期から項目を追加した「自分にはよいことがある」も3.2以上の肯定的意見であった。

成果としては学習面、生活面、健康面とまんべんなくよくできている児童が多い。(3.2以上が31項目) 課題としては、3.2以下の「授業挨拶(4秒礼)」「家庭学習」「家庭での読書」「授業での話し合い活動」「教師への悩み相談」の改善が必要である。

それらを基に、今年度の重点目標として「自ら進んで学び、共に支え合い、よさを高め合う子」とした。自ら目標を立て、それに向い努力し、達成する。そこには自らが動く「主体性」

が必要となる。教育活動のあらゆる場面で「主体性」を発揮させたい。また、振り返りを行うことで自分の現在地を知り、粘り強く最後までやりぬく力を身に付けさせたい。さらに、「友」「教師」「保護者」の力を最大限生かし、互いに支え合うことで、さらなる力を発揮させたい。そのためには、学校と保護者が同じ方向を見て、学ぶ楽しさ、学び合う楽しさを味わわせ、子ども同士がそれぞれのよさを認め理解し、互いにより影響を与える姿を目指し、今年度の重点として取り組んでいく。

4 目指す子どもの姿

- ◎未来を描き、主体的に学び合う子（知）
- ◎自分と相手とともに大切にする子（徳）
- ◎心身を鍛え、たくましく育つ子（体）
- ◎ふるさとを学び、ふるさとと歩む子（地域）

5 目指す子どもの姿につなぐ具体的な力12スキル

◎未来を描き、主体的に学び合う子（知）

- ①自分で学ぶ習慣を身につける【知技】（1～4年）
- ②自分の課題を知り、計画的に学ぶことができる【知技】（5・6年）
- ③決められた目標に向かって努力することができる。【学人】（1～4年）
- ④自分の将来に向けた目標に向かって努力することができる【学人】（5・6年）

◎自分と相手とともに大切にする子（徳）

- ⑤元気よくあいさつをすることができる【知技】（1～4年）
- ⑥気持ちのよいあいさつをしたり態度を取ったりすることができる【知技】（5・6年）
- ⑦自分の思いをしっかりと表現することができる【知・技】（1～4年）
- ⑧すすんで誰とでも話し合うことができる【思判表】（5・6年）

◎心身を鍛え、たくましく育つ子（体）

- ⑨元気よく体を動かすことができる【知技】（1～4年）
- ⑩様々な体験から運動の楽しさを実感しすすんで取り組むことができる【学人】（5・6年）
- ⑪自分の好きなことややりたいことを理解して取り組むことができる【思判表】（1～4年）
- ⑫失敗を恐れず勇気をもって挑戦することができる【知技】（5・6年）

6 目指す教師の姿

- 子どもとともに学び続ける教師
- 子どもや保護者に信頼される教師
- 協働性、同僚性をもった教師

7 経営の基本方針

- (1) 子ども一人一人が「西小の宝」であるという認識のもと、組織的に教育活動を推進する。
- (2) 主体的に学び、協働する教育活動を推進し、生きる力を育成する。
- (3) 特別支援教育の視点を持ち、生徒指導と特別支援教育を推進する。
- (4) 保護者、地域に信頼され、つながりをもとに協働を推進する。
- (5) 他校種（幼保、東小、一中、二中）との連携及び小中一貫教育に向けた取組を推進する。

8 取組の具体的事項

組織的で実効性のある取組に向けて

- ①確実な「情報共有」 ← 「報告」「連絡」「相談」「確認」の徹底
- ②参画意識をもって「協働」
- ③いつでも誰にでもわかる「見える化」

(1) 岩内中央学園に向けたグランドデザイン

～学びの土台を固め、スムーズに岩内中央学園の移行へ～

【具体的な取組】

- ①小小 ～教育課程・学習規律・学習過程・生徒指導の統一に向けて～
「各種行事の在り方検討」「日常授業改善」「そろえる活動」「西小あいことば」等
- ②小中 ～教育課程・学習規律・学習過程・生徒指導の統一に向けて～
「乗り入れ授業」「学校評価項目の統一」「生活指導（校則）項目の検討」
- ③幼保小連携 ～スタート&アプローチカリキュラムの推進 授業交流～
- ④ユニバーサルデザインの視点・感染症・暑さ等、教室環境の整備
- ⑤校舎内外の安全点検、備品の管理

(2) (知) 自ら学び、わかり合って にっこり

～未来を描き、主体的に学び合う子を育成するために～

【具体的な取組】

- ①問題解決型学習の確立（目③④）
- ②日常に生きる授業改善（目③④）
- ③効果的な ICT 活用場面の設定（目①②）
- ④個に応じた指導の徹底（目③④）
- ⑤家庭学習（学年の数×10分）・読書習慣の定着（目①②）

(3) (徳) 自分と相手の心が にっこり

～自分と相手をとともに大切にす子を育成するために～

【具体的な取組】

- ①「自己肯定感」の醸成（目⑦⑧）
- ②「自分から挨拶」～相手意識～（目⑤⑥）
- ③思いや考えを表現する場の設定（目⑦⑧）
- ④相手を思いやる言動の定着（目⑤⑥）
- ⑤自主性や責任感を育てる異学年交流（目⑦⑧）

(4) (体) 心とからだ が にっこり

～心身を鍛え、たくましく育つ子を育成するために～

【具体的な取組】

- ①粘り強くやりぬく心の育成（目⑪⑫）
- ②新体力テストの活用と体力向上（目⑨⑩）
- ③生活リズムチェックシートによる生活習慣の確立（目⑪⑫）
- ④身体をつくる食に関する指導（目⑨⑩）
- ⑤心と体を高める保健指導（目⑪⑫）

(5) 教育的ニーズに応じた適切な支援体制をつくる

【具体的な取組】

- ①通常学級の困り感を持つ子どもを組織的に支える体制づくり
- ②特別支援学級における子ども一人ひとりの特性の的確な把握と適切な指導
- ③校内支援委員会の充実と関係機関との連携
- ④幼保や中学校との円滑な接続に向けた個別の指導計画並びに教育支援計画の整備
- ⑤適切な支援のための特別支援教育の校内研修

(6) 信頼とつながりをつくる

【具体的な取組】

- ①積極的な教育相談や保護者との面談
- ②学校便り、HP、安心メール等による情報発信
- ③地域と連携した教育活動の工夫（生活科、総合的な学習、道徳、防災、環境、食育等）
- ④専門部会を軸とした岩内中央学園に向けた取組
- ⑤関係機関（教委・役場・警察等）とのスピード感のある連携